



子育てについて悩んでいませんか？

皆さんの周りには、子育てで悩んでいるお父さんやお母さんはいませんか。

近年、核家族化や共働きの進行、さらには地域におけるつながりの希薄化等により、子育てについて気軽に相談したり、少しの間面倒をみてもらったりできるような環境が以前に比べて減ってきていると言われております。

一方で、子ども達も幼稚園や保育園、小学校や中学校での生活に加え、放課後の居場所といわれる児童クラブや子供教室のほか、課外活動やスポーツ少年団、習い事などで様々な子ども達と交流が出来る反面、ストレスを抱えて帰宅する子どもも多いと思われます。そうした中で、うまく気持ちが整理できずに様々な形で家族にその不満をぶつけてきたり、中には殻に閉じこもってしまったりする場合も多いと思います。

そんな時、配偶者や家族と相談して解決したいものですが、「なかなか改善できない」、とか「家族が相談に乗ってくれない」場合、保護者の皆さんはどうしているのでしょうか。学校や園に相談する場合もあるでしょう。しかし、内容によっては相談し難い問題もあるのではないのでしょうか。

そんな時のために県内には様々な相談機関があります。そこで今回は当センターで開設している「子育て電話相談」と「メール相談」、そして関連した子育て支援事業について紹介します。

子育て電話相談すこやかダイヤル

☎ ~「かけてよかった」が続々！~

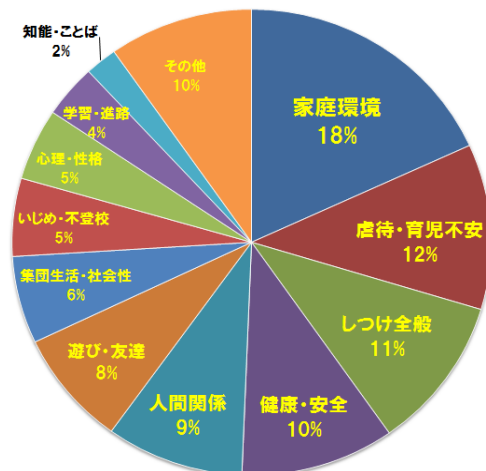
当センターでは子育て電話相談「すこやかダイヤル」と「すこやかメール相談」を開設しており

岩手県立生涯学習推進センター情報
平成 29 年 12 月 5 日 (火) 発行

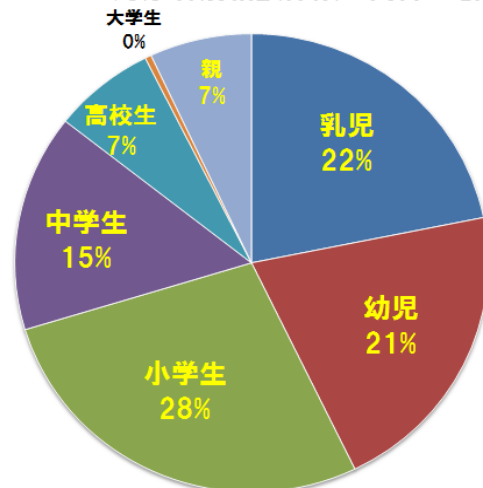
NO.94

ます。ここ数年の傾向を見ますと合計 1,000 件前後の相談が寄せられており、その約 8 割が電話による相談です。昨年度の相談内容と相談の対象となるお子さん等の内訳は次のグラフのとおりです。

H28 電話・メール相談内容の割合【図1】



H28 対象者別相談件数の割合【図2】



子育て相談と聞くと、小さなお子さんの相談が多いように思われますが、図2から中学生や高校生さらには子育てについての親同士の考え方や親自身の悩みについての相談も見られます。

また、相談内容(図1)で最も多いのは「家庭環境」で、「虐待・育児不安」、「しつけ」など家庭内の悩みのほか、「集団生活」や「いじめ・不

子育て・親育ちサポートサロン

～子育て支援事業～

登校」など、相談内容も多岐に渡っております。

こうした子育ての悩みが原因となって、家庭内の状況が混乱したり、保護者の方が追い詰められたりして相談をされる方もおられ、中には**かなり精神的に切羽詰った状態で連絡をくださる方も少なくありません**。それだけ苦しい思いをしながら日々生活しておられたのでしょうか。そして勇気を振り絞って電話をくださった方々は、当センターの専門の相談員とじっくり話をし、最後は気持ちが少し楽になり、「かけてよかった。」と話される方が殆どです。誰かに話を聞いてもらうことで自分の気持ちを整理したり、客観視できたりすることで気持ちがだいぶ楽になるのだと思います。

残念ながらこのセンター情報は保護者の皆様には直接届きません。当センターではこれとは別に下のようなチラシを作成し、今年度は県内の幼稚園及び各小中学校1年生の保護者に、12月上旬に配布予定です。(本年2月に同様のチラシを県内保育園・保育所・子育て支援センターに配布済) 子育てに悩んでいる保護者の方が、学校や関係機関の皆様の身近におられましたら、この電話相談をぜひご紹介いただきたいと思います。**相談をされた方はきっと楽になると**思います。



「子育て・親育ちサポートサロン」

☆目的

- 1 日常の子育てについて振り返り、自分の子育てを見つめ直す契機とする。
- 2 親が子育てをしていく上での心構えを身につける。

☆対象及び講師

| コースA | コースB |
|---|---|
| 生後概ね10か月以上～3歳未満の乳幼児をお持ちの保護者 | 幼稚園(保育園)年中以上～小学生以下のお子さんをお持ちの保護者 |
| 市町村教育委員会社会教育行政(家庭教育)担当者 子育て支援関係者 その他、子育て支援に関心のある方 | |
| 発達支援相談員 (木村純子氏) | 心理カウンセラー (盛岡ハートフルカウンセリングセラフィ代表 佐藤真理子氏) |

☆内容

| | |
|---|--|
| 【講話】 「子育て・親育ち～楽しく遊び、見通しをもって育てる～」 【ふれあい遊び】 「親子で遊ぼう」 | 【講話・演習】 「見つめてみよう自分のキモチ。聴いてみようこどものココロ。」 |
|---|--|

☆託児あり
岩手県子育てサポーターが担当します。
(市町村等子育て支援サークルの方々にもお手伝いいただいています。)

詳細はWEB版事業報告書で

→ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/29houkoku/29houkoku.html>

この事業のコースAでは、「まず母親自身が苦しい思いをして出産しこれまで育ててきたことに自信を持つこと」、コースBでは、「日常の自分の暮らしを振り返り、自分のがんばりを認めてあげること」がそれぞれ大切であることを講師からお聞きし、発達段階に応じた子どもとのふれあいや会話の仕方を学び、参加者は明るい表情になって帰路につかれました。

この事業の参加者の応募動機は、「日々の子育てに追い詰められ苦しくなっている時にこのチラシを見て飛びついた」とか「同じような悩みを持つ人と話をしたかった」という方が多く、電話やメール相談も同様の効果があるように思われます。事業への参加や電話等の相談をぜひご利用いただきたいと思ひます。

(所長 佐藤 寛)

秘密厳守!

「子育て電話相談「すこやかダイヤル」

0198-27-2134 (電話料金がかります)

- ・年末年始を除く平日 10時～17時
- 時間外は、留守番電話・FAXで受付

「子育てメール相談「すこやかメール相談」

kosodatem@pref.iwate.jp

このほか、子育てに役立つ多様な情報を配信中
《すこやかメールマガジン》 (毎週木曜日)
 上記アドレスに「メルマガ配信希望」と入力の上、送信いただければ登録完了です。

QRコード↓





岩手県生涯学習推進研究発表会



～岩手の人づくり・地域づくりフォーラム 2017～



皇學館大学現代日本社会学部

教授 岸川 政之 氏

[2月2日(金)午前]

【講演】

「未来の大人に私たちができること！」

高校生レストラン
の仕掛け人が語る

【講師紹介】

1957年生まれ。1982年三重県多気町入庁。2011年4月「まちの宝創造特命監」に就任。高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店(株)相可フードネット「せんばいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。これらの取り組みは、国土交通省ふるさと手づくり賞大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、2011年5月からは「高校生レストラン」と題しテレビドラマ化もされ話題を呼んでいる。

また、2013年4月に三重県立南伊勢高校で立ち上げた「SBP(若者が中心となり、地域資源を活用して地域活性化に取り組むソーシャルビジネスプロジェクト)」の取り組みが注目されている。2017年からは、SBPに取り組む全国の高校が集う「全国高校生SBP交流フェア」が文部科学省の共催事業となり、今後の展開に期待が集まっている。(HP:s-kouryu.net)

現在は多気町を退職し、皇學館大学教授のほか、(株)百五銀行地域創生部顧問、(一社)未来の大人応援プロジェクト代表理事を務める。地方の活性化をテーマに全国各地で「まちづくり」、「商品開発」、「生き方考え方のヒント」などをテーマとした講演やワークショップを多数開催。また、市町村、NPOなどのアドバイザーとしても活躍している。

[2月1日(木)午後]

★【研究発表】当センターの今年度の研究成果を発表します。

(1)学校と地域の連携・協働のあり方に関する実践的研究

※国の施策を踏まえ、岩手の実態に即した学校と地域の連携・協働のあり方を探ります。

(2)効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究

※子どもを対象とする事業の評価を市町村と共同で実施し、その成果や効果を示す方策を提案します。

[2月2日(金)午後]

★【事例発表・協議】「高校生が地域を変える」

①「岩手県立黒沢尻北高等学校『きたかみ世界塾』の取組」

| | | | |
|-----|----------------|------|---------|
| 発表者 | 岩手県立黒沢尻北高等学校 | 副校長 | 千葉 治 氏 |
| | いわてNPO-NETサポート | 事務局長 | 菊池 広人 氏 |

②「宮古を愛し社会へ参画する若者を支援する取組」

| | | | |
|-----|--------------|---------|--------|
| 発表者 | NPO法人みやっこベース | 理事兼事務局長 | 早川 輝 氏 |
|-----|--------------|---------|--------|

③『「大館高校生まちづくり会議HACHI」の取組』

| | | | |
|----------|------------------|----|----------|
| 発表者 | 秋田県大館市中央公民館 | 主事 | 松田 亜里紗 氏 |
| コーディネーター | 皇學館大学現代日本社会学部 教授 | | 岸川 政之 氏 |

日時

平成30年 2月1日(木) 13:30~16:00

2月2日(金) 9:30~14:30

会場

岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13 TEL:0198-27-4555

※詳しくは「まなびネットいわて」URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> で検索!

今回は、奥州市協働まちづくり部から、特色ある事業について寄稿いただきました。

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、北上山地と奥羽山脈に挟まれ、その中心を北上川が流れる肥沃な地帯です。また、Z項発見の場所にもなった国立天文台水沢V L B I 観測所があるほか、高野長英、後藤新平、斎藤實など江戸末期から現代へと続く近代日本を切り開いた偉人を多く輩出しています。

市では、「第2次奥州市生涯学習基本計画」に基づき、「豊かな生き方を築く生涯学習・文化活動の推進」を目指して市民との協働による生涯学習のまちづくりを進めています。



旧緯度観測所本館 (奥州宇宙遊学館)
H29. 10. 17 国登録有形文化財 登録

学校支援地域本部事業

市内5本部21校で事業を実施しています。

5本部それぞれに設置している地域コーディネーターが中心となり、多くのボランティアの協



家庭科 (裁縫) の授業補助

力の下、読み聞かせや授業支援、校内整備活動等の学校のニーズに応じた活動が行われています。授

業支援活動として、習字、家庭科(ミシン・裁縫)、生活科(昔あそび)の授業にボランティアが入る本部もあり、日常的な支援を通じて、子どもたちにとって地域の人が身近な存在となっており、道で会った時には挨拶する等の交流が生まれています。

中学校での読み聞かせ事業

子どもの読書活動推進事業の一つとして、中学校での読み聞かせとブックトークに取り組んでいます。読み聞か



昔語りの様子

せは、中学校の朝読書等の時間、地域の読書ボランティアにご協力をいただき実施しています。平成28年度は読書ボランティア41人が参加しました。読書ボランティアによるブックトークでも、紹介した本を手にとり友人と語り合う生徒の笑顔が印象的です。

多忙な中学校生活の中でも、生徒が読書の楽しさを再認識するきっかけになり、自主的な読書活動に繋がるよう、読書ボランティアのみなさんが頑張っています。



ブックトークの様子

